

史料番号	表題	年	月	日	作成者(差出人)	宛名	註記	形態	数量	備考	
1	[藤井家知行判物・目録写]	(近世中後期)						長綴	1	1-1~15は帳面の記事の細目次	
1	1	御判物別紙御目録之写	慶長6	3	20	長政	藤井九左衛門	扶助として志摩郡伯(泊)村・浦志村の内400石の宛行		記事	
1	2	知行之目録	慶長6	3	20	長政		志摩郡伯(泊)村・浦志村内2,516石191を松田午介ほか9名にて知行、残16石代官		記事	
1	3	知行目録之事	慶長7	12	23	長政	藤江九左衛門	鞍手郡下有木村・上有木村・礪光村にて500石		記事	
1	4	[黒田忠之替地宛行状写]	元和9	9	朔日	忠之	藤井九左衛門	那珂郡下東郷村のうち7石5斗		記事	
1	5	[黒田光之知行宛行状写]	寛文10	9	16	光之	藤井甚太郎	扶助として表粕屋郡山田村にて200石の宛行		記事	
1	6	[黒田光之加増宛行状写]	延宝2	9	21	光之	藤井甚太郎	加増として表粕屋郡山田村、裏粕屋郡下原村にて100石、本知合せて300石の宛行		記事	
1	7	加増目録	延宝2	9	21		藤井甚太郎	表粕屋郡山田村・裏粕屋郡下原村にて100石		記事	
1	8	[黒田光之加増宛行状写]	貞享元	9	5	光之	藤井甚太郎	加増として席田郡金隈村、表粕屋郡下須恵村・炭焼村にて400石、本知合せて700石の宛行		記事	
1	9	加増目録	貞享元	9	5		藤井甚太郎	席田郡金隈村、表粕屋郡下須恵村、同炭焼村にて400石		記事	
1	10	[黒田綱政加増宛行状写]	元禄7	2	21	綱政	藤井勘右衛門	加増として表粕屋郡植木村・上中原村、裏粕屋郡今在家村、席田郡金隈村にて400石、本知合せて1,100石		記事	
1	11	目録	元禄7	2	21		藤井勘右衛門			記事	
1	12	[黒田綱政加増宛行状写]	宝永4	5	7	光之	藤井勘右衛門	加増として那珂郡下白水村、穂波郡八木山村、御笠郡下見村にて400石、本知合せて1,500石の宛行		記事	
1	13	加増目録	宝永4	5	7		藤井勘右衛門	那珂郡下白水村、穂波郡八木山村、御笠郡下見村にて400石		記事	
1	14	替地目録	元禄16	12	19		藤井勘右衛門	那珂郡平尾村・同上警固村にて合せて187石169		記事	
1	15	覚		閏正月	27			御笠郡下見村・同吉木村、裏粕屋郡新原村、宗像郡内殿村、鞍手郡稲光村にて合せて400石		記事	
2		[黒田長政知行宛行状写]	慶長6	3	20	長政	藤井九左衛門	扶助として志摩郡伯(泊)村・浦志村のうち400石の宛行	折紙	1	
3		[黒田長政知行宛行状]	元和7	正月	20	長政	立花弥兵衛	扶持として粕屋郡薦野村・米多比村にて400石の宛行	折紙	1	包紙上書「元和七年正月廿日 長政公より立花弥兵衛江被下四百石之御判物」。包紙1~3参照
4		[黒田忠之知行宛行状]	寛永18	2	3	忠之	立花平六	扶助として志摩郡女原村のうち200石の宛行	折紙	1	包紙あり
5		[黒田光之知行宛行状]	明暦2	3	23	光之	黒田平左衛門	扶助として早良郡・怡土郡の内、7,000石の宛行	折紙	1	包紙あり。包紙6参照
6		知行目録	明暦2	3	23	光之	黒田平左衛門	早良郡16町村ほか11ヶ村にて合せて7,000石	継紙	1	包紙2枚あり。包紙7参照
7		[黒田光之知行宛行状写]	寛文10	9	16	光之	藤井甚太郎	扶助として表粕屋郡山田村にて200石の宛行	折紙	1	
8		[黒田光之加増宛行状]	延宝2	9	21	光之	藤井甚太郎	加増として表粕屋郡山田村、裏粕屋郡下原村にて100石、本知合せて300石の宛行	折紙	1	包紙13, 14参照

史料番号	表題	年	月	日	作成者(差出人)	宛名	註記	形態	数量	備考
9	[黒田光之加増宛行状写]	延宝2	9	21	光之	藤井甚太郎	加増として表粕屋郡山田村、裏粕屋郡下原村にて100石、本知合せて300石の宛行	折紙	1	
10	[]行分平均新高目録	[]	3	20	菅四郎左衛門・青野太兵衛	藤井甚太郎	表粕屋郡山田村にて新高230石4斗	継紙	1	包紙あり、天欠のため取扱注意
11	[黒田光之加増宛行状写]	貞享元	9	5	光之	藤井甚太郎	加増として席田郡金隈村、表粕屋郡下須恵村・炭焼村にて400石、本知合せて700石の宛行	折紙	1	
12	加増目録	貞享元	9	5	(光之黒印)	藤井甚太郎	席田郡金隈村、表粕屋郡下須恵村・同郡炭焼村にて合せて400石の加増	縦紙	1	包紙8参照
13	[黒田綱政加増宛行状]	元禄6	11	15	綱政	黒田次郎大夫	加増として早良郡にて1,200石、本知早良郡・怡土郡・裏粕屋郡のうち1万519石23479、都合1万1719石23479の宛行	折紙	1	包紙あり。包紙9参照
14	目録	元禄6	11	15	(綱政黒印)	黒田次郎大夫	早良郡七隈村、同郡四箇村にて1,200万の加増にて、本知共に1万1719石23479	継紙	1	包紙あり。包紙9参照
15	[黒田綱政加増宛行状写]	元禄7	2	21	綱政	藤井勘右衛門	加増として表粕屋郡植木村・上中原村、裏粕屋郡今在家村、席田郡金隈村にて400石、本知合せて、1,100石宛行	折紙	1	
16	目録	元禄7	2	21	(綱政黒印)	藤井勘右衛門	表粕屋郡植木村・上中原村、裏粕屋郡今在家村、席田郡金隈村にて加増、本知合せて1,100石	継紙	1	包紙10参照
17	元禄六年分御加増知物成指引目録	(元禄7)戊	2	27			表粕屋郡植木村・上中原村、裏粕屋郡今在家村、席田郡金隈村分につき	継紙	1	
18	[]拝知之内替知高目録	[]	4	25	平田清右衛門・占部伝右衛門	藤井勘右衛門	那珂郡平尾村・同郡上警固村にて替知	継紙	1	包紙あり、天欠のため取扱注意
19	[黒田光之加増宛行状写]	宝永4	5	7	光之	藤井勘右衛門	加増として那珂郡下白水村、穂波郡八木山村、御笠郡下見村にて400石、本知合せて1,500石の宛行	折紙	1	包紙12参照
20	加増目録	宝永4	5	7	(光之黒印)	藤井勘右衛門	那珂郡白水村・穂波郡八木山村・御笠郡下見村にて合せて400石	縦紙	1	包紙上書「藤井勘右衛門とのへ」。包紙12参照
21	覚	(宝永5)	閏正月	27		藤井勘右衛門知行分	代知として御笠郡下見村他4ヶ村にて400石	継紙	1	破損により閲覧不可。包紙12参照
22	口知拝領知高目録	宝永5	8	11	櫛橋貞右衛門・母里正左衛門・占部忠右衛門・森彦左衛門	藤井・(兵衛)	席田郡金隈村ほか5村にて600石	継紙	1	包紙あり。破損により閲覧不可。包紙12参照
23	証拠之事	寛政3	5		天野弥市兵衛・坂田新五郎・櫛田甚内・富永軍次郎・花房左兵衛	藤井甚太郎	矢野貞七拝領の遠賀郡小石村荒手谷壱作田2反3畝上り地につき拝領仰付	継紙	1	包紙上書「壱作証文壱通」
24	貴殿知御御足大豆・証拠之事	嘉永2	5		桐山九郎次・矢野太左衛門・内野太郎左衛門・天野弥三郎・在大坂 小森藤三郎	藤井九左衛門	大豆28俵1斗7升9合、上座郡	継紙	1	封筒あり、破損のため閲覧不可
25	丹墪姓薦野氏系						宣化天皇～徳太夫種賢、半太夫親豊まで	継紙	1	軸仕立
26	[丹治姓薦野氏分家系図]	(明治10年代頃)					増重子重興より明治初期まで(元和6年生)	長帳	1	1丁表付紙「従是分家末家之分」

史料番号	表題	年	月	日	作成者(差出人)	宛名	註記	形態	数量	備考
27	覚	(天和3カ)	閏5	22	立花弥次郎		立花弥次郎家由緒書上(三河・吉右衛門より平左衛門まで)、黒田次大夫へ本知1万500石、立花弥兵へ分知1,300石拝領仰付、平左衛門は未だ判物なき事	折紙	1	
28	[覚]	(元和5頃)					黒田治郎大夫・立花勘左衛門両家の由緒書上	継紙	1	
29	蔣野金右衛門江平右衛門勘右衛門ヨリ遺候書状之ひかへ	享保8卯	7	3	立花勘右衛門・立花平左衛門	蔣野金右衛門	立花飛騨守様ヨリ御尋ね候つき、先祖以来の委細返答(文書・害・感状他)、他に蔣野家所持の書付控所見の別紙あり	書冊	1	
30	[改字覚]	享保17壬子	閏5		三宅孫太夫		勘右衛門重洪、源右衛門重垣の諱改め	切紙	1	地欠、取扱注意
31	血脉系 略						立花三河守増時より立花徳太夫まで家系書上	横半帳	1	
32	[船曳家系図]						元祖奥五郎兵衛より六代目圭左衛門まで	一紙	1	
33	[富本繁家履歴]	(明治初年)					富本九右衛門(安政5年士分召抱、明治元年12月退身、同月12日繁家督)	切紙	1	
34	[広田宅右衛門家系図]						宅右衛門先妻・後妻の系図を含む	堅紙	1	下札1枚あり
35	家景(ママ)畧						三奈木黒田家々来坪田家の略系図。坪田藤左衛門玄雄より11代四郎兵衛玄通(文政3年2月25日来地10石加増 都合417石分)	継紙	1	取扱注意
36	[黒田如水遺書写]						如水公茶室御定書写を含む	一紙	1	裏打あり
37	覚	宝永2	12	23	光之	松平肥前守	矢野安太夫・立花五郎左衛門・藤井勘右衛門外、隠居所にて親切に勤仕したるにつき夫々品能き安堵申付	切紙	1	包紙11参照
38	[立花重根遺言]	宝永(4)丁亥	初秋	20	丹治姓立花氏重根		如水・秀吉・幽斎の連歌抜書、黒田長政御法度書、忠之公・光之公遺言ほか	巻紙	1	
39	[長政公法令写]	享保12	9		継高	黒田美作・郡正太夫・大音六左衛門・浦上三郎兵五、吉田六郎太夫	元和3年8月の長政3ヶ条の御法令遵守の申達	継紙	1	
40	御法令三個條広義	嘉永5壬子	9	写	立花延士		元和3年8月の黒田長政法令3ヶ条の注釈	書冊	1	
41	[書状]	(寛永15)	3	朔日	□(花押)		去る27日の御働の次第についての証人としての申出	堅紙	1	天欠、取扱注意
42	[徳川家光黒印状]	(近世前期)	5	14	(家光黒印)	筑前侍従	帰国につき狸々皮・蚊帳到来の礼状	折紙	1	包紙上書「筑前侍従とのへ」
43	[立花重種書状]		8	23	重種	次郎太夫	公儀より仰出の儀につき背かざるよう家来共まで申付くべき事ほか条々書上	折紙	1	
44	[黒田長清書状]		12	3	伊勢守長清	藤井勘右衛門	寒中見舞、高浜十兵衛・善口清右衛門の件、品物受取につき御礼	切紙	1	虫損甚し、取扱注意
45	享保二年丁酉正月元旦ヨリ之日帳						表紙墨書「赤馬駅勤此帳ニ有リ」	長帳	1	後欠
46	蔣野村庄屋代一卷	安永4	2				蔣野村庄屋喜兵衛(清五郎子)病死後、同村の跡庄屋決定までの騒動	書冊	1	
47	[妙典寺江箱崎松原松立地御寄附一件]	(安永7)						書綴	1	
48	殿様御幼年御滞府中 長崎御奉行御取扱之次第	(天明6頃)					長嵩公在府中の取扱次第、阿蘭陀入津一件(天明6年5月)、阿蘭陀舟出帆一件(9月20日)	小横帳	1	
49	[御用日記]	(文政2頃)	5	13			6月晦日まで	長帳	1	前・中欠。帳外れ3枚あり(14日～16日、帳面前半部分)

史料番号	表題	年	月	日	作成者(差出人)	宛名	註記	形態	数量	備考
50	増熊公御登坂記録	嘉永7寅	7月	卅				長帳	1	
51	辰二月三月分御用記	(安永3)						長帳	1	
52	(黒田慶賛書状)	文久3	8	当賀(26)	(慶賛)	山城へ申入(立花山城守)	今日の祝儀(称号の付与)に、僉肴の進呈	継紙	1	包紙2枚あり。内包紙上書「祝用申入 黒田山城江」。外包紙上書「文久三癸亥八月廿六日 増熊公依御勤切御称号御頂戴之節御祝席江從 慶賛公被下候御書并御詠 御短冊ハ表具ニ下ル」
53	[書状]		2	23			春嶽兄明日参内につき、長州処置振の連白書草稿御覧になり度との事ほか	継紙	1	
54	[書状]		4	23		左衛門	紀州君臣への御礼は明朝一書差上るべき事ほか	継紙	1	
55	[文口書状]		水無月	11	文口	増照君の御かたハラ	肥前中野の姫君の件ほか	継紙	1	
56	[秋月蔵許役所書状]		9	25	秋月蔵許役所	藤井九左衛門	過日御引合せの秋月勘定所支配平次啓太郎養子願出の趣につき、願の通に許可の知らせ	継紙	1	
57	[黒田甲斐守書状]		10	2	(黒甲州)	(立花平左衛門)	脇差の件は何方の細工とは不明なれ共、面白き鎧と存じ奉る事、脇差2枚共返上の事	切紙	1	封筒あり
58	[存寄書]		11	20			大書院・部屋・大奥古構内の茶屋等3ヶ条の解除の趣意書	継紙	1	包紙あり。包紙上書「御書」
59	[新堀書状]			30	新堀	立花平左衛門	此方へ日取を申遣わすべきことほか	継紙	1	
60	[存寄書]						侍中の心得方(長崎表手当等による財政困窮に対する)存寄書	継紙	1	前欠
61	[書状]						過日申談じおく件につき、大早にて明日差出の願	継紙	1	
62	[申渡]	(嘉永7カ)				平左衛門	財用繰別て差支の折柄、異国船度々渡来により、今度本メ人数を増し、其方儀へ諸事引請取斗申付	継紙	1	包紙16参照
63	[申渡]	(嘉永7カ)				平左衛門	財用繰差支えに付、財用方本メに申付、郡町浦用向をも受持申すこと	切紙	1	包紙16参照
64	[申渡]					弾正	去年参勤前の混雑を程よく取払い、去秋窮民救助筋も大造などにつき鞆遣い差許しのこと	継紙	1	端裏付紙「二」、同「弾正」
65	[福岡藩申渡]		6		(福岡藩朱印)	黒田醒翁	年来勤王の志厚く、ひたすら国事に勤勞するにより一世米100俵を与え、藩内にては大参事上席に申付	継紙	1	端裏付紙「黒田醒翁」。封筒・封筒紙帯あり(茶封筒)
66	附属分限帳	明治3午	11	10	藤井一寛		馬乗白井猛ほか3人(馬乗4人)	書冊	1	
67	宗旨御改ニ付受証抛之事	明治4未	2		遠賀郡小石村庄屋高崎源六郎	藤井一寛様御取次	小石村居住にて藤井家来判嘉蔵家内残らず、以後小石村村方宗旨帳面に差加えのこと	継紙	1	
68	附属分限帳	(明治4)	5		藤井一寛		馬乗白井猛ほか8名(馬乗5人、士分1人、卒3人)	書冊	1	

1137 藤井(甚)文書

史料番号	表題	年	月	日	作成者(差出人)	宛名	註記	形態	数量	備考
69	[日記]	(明治4)	8			大村呉ヨリ	立花氏カ	長綴	1	錯簡カ
70	附属分限帳	明治4未	9	10	藤井一寛		馬乗臼井猛・安武覚・富本繁分	書冊	1	
71	老作銘頭願	明治6	5		第一大区十三ノ小区六十一番屋敷居住銘頭士族藤井一寛ほか1名	福岡県権令沢管徳他2名	遠賀郡小石原村抱荒御手谷の老作銘頭願。第5大区戸長筑紫辰五郎ほか4名の奥書及び聞届書あり	罫紙綴	1	
72	約定書	明治9	9	11	藤井一寛	大庭嘉造	小石村藤井抱地の永代小作約定証	罫紙	1	付紙あり(「□加入可被下候也 老作証書ト可相成哉」)
73	[高崎源三郎書状]	(明治9)	9	15	(遠賀郡)小石村惣代高崎源三郎	藤井一寛	大庭嘉造より永代小作約定書の受取、追て同人より小作証書を指出さす予定	切紙	1	包紙あり
74	約定書	明治9	9		第一大区三小区東通丁八十四番地士族藤井一寛	大庭嘉造	小石村荒尾手谷の拝願1作地の小作約定	罫紙	1	
75	[桜井清書状]	(明治9カ)	10	30	第四大区十小区副戸長桜井清	藤井一貫	小石村地内抱田地の名前書換のため実印持参にて調所まで出頭の懸合	罫紙	1	封筒あり
76	第八十八号貸金催促之訴状	明治11	3	7	筑前国博多大浜町2丁目士族三浦懷遠		同訴訟関係文書写	書冊	1	
77	[一寛・太兵衛連署書状控]		8	18	一寛・太兵衛	(三浦)懷遠	出訴の書類写留め残り分は毎事仕舞い次第に進達致すこと	罫紙	1	
78	書留郵便物請取証	明治13	7	22	(古美山印)	差出人福岡藤井一寛	長崎岡田至俊宛の書留受取、他に同28日分の受取証1枚あり	切紙	2	
79	通信料確受証	明治13	8	8	(福岡・(不明)局印)	出状人東	三浦宛の電信料の受取、他に同7日分1枚あり	切紙	2	
80	第八拾八号抵当物入札揭示案	明治13	8	10			福岡縣筑前国那珂郡博多川端町平民梅崎市三郎の建物を来る12日入札に付、希望の者は当日午前8時に同人宅へ罷越すべきことほか	書綴	1	
81	1 御受書	明治16	2		筑前国福岡天神丁士族宮内保代人原告兼原告人藤井一寛	福岡始審裁判所長判事進十六	被告人三浦懷遠に係る委任解約并に預ヶ書類取戻し裁判の出頭日につき	罫紙	2	同文1通同折。81-1~2同折
81	2 執行願御下渡願	明治16	6	12	筑前国福岡荒戸町士族原告人藤井一寛	福岡始審裁判所長判事進十六	三浦懷遠不在かつ居所不分明のため、同人に係る裁判執行願を一先御下渡の願	罫紙	1	
82	明治十七年出納記	(明治17)						長綴	1	
83	月賦金間通	明治18	8月ヨリ				明治19年1月まで	小横帳	1	
84	明治十八年出納記	(明治18)						長綴	1	
85	証	明治19	4	9	福岡軽罪裁判所検事補結城朝敏	藤井一寛	粕屋郡谷山村某外1人に対する山林盗伐事件の告訴受理証	罫紙	1	
86	納税通知書	(明治)19	6		(谷山村)戸長役場	谷山村 藤井一寛	18年分荒地起返税畑金1錢8厘の納入通告	切紙	1	
87	納入通告	明治19	7	9	戸長役場	谷山村分 藤井一寛	地押入費金66錢4厘の納入通告	切紙	1	
88	記						21年2月去弘より取用る金他の元利算用、他に折紙1枚の元利算用の「記」を合綴	長綴	1	
89	[通知書]	明治40	3	14	帝国生命保険株式会社福岡支店	藤井一寛	養老保険の毎月保険料及び不足保険料の概算通知	罫紙	1	
90	書籍買求覚						「代数学」「国史覽要」他、衣類買求覚を含む	折紙	1	
91	記		第2	25	丸屋店(博多中島町漆器家具卸商熊谷才吉)	藤井	西洋鏡台他の代金3円45銭の受取	継紙	1	
92	記		4	12	川野[]	藤井	綿・手拭等の代金算用、合計金97円18銭6厘	継紙	1	

史料番号	表題	年	月	日	作成者(差出人)	宛名	註記	形態	数量	備考
93	[立花増態歌詠]				増態		人こと共に月前露といふことをよみて、三かへりの御霊の御前に手向奉る「秋の露」ほか4首	切紙	1	
94	[歌詠集]				増態		増態「むしろより」ほか4首	継紙	1	中欠カ
95	小早川先師斥候引哥	享保己亥 (4)	秋米月		香西成資八十八歳		雪口見所を見る「武士の笠に」ほか2首	切紙	1	□=入力不能、軸あり
96	[書状]		5	3		吟松	過日噂致せし染筆にて雪の歌を認め下されたきことほか	継紙	1	包紙あり
97	[庸山書状]				(庸山)	(笠原道仙)	雪の会心得についての質問への回答	継紙	1	包紙あり
98	[漢詩]						「筵除無別種葱菴漸成陰」ほか	継紙	1	
99	[唐絶句三首]						「終南陰嶺秀」ほか	折本	1	
100	[唐絶句三首]						「強欲登高去」ほか	折本	1	
101	東遊賦						「受秋矣之寵光兮」	豎紙	1	印刷物
102	[南坊流由来]	文政3辰	夏		一樹軒		南坊派茶道の始祖及びその由来	継紙	1	
103	枝桐目貫証文	正徳6	4	7	後藤四郎兵衛光寿		廉乗作、金枝桐目貫の代金証文	折紙	1	包紙あり
104	八卦從変活法之伝		4	20	白蟻		「乾変之部」他の伝授	折紙	1	
105	香西流軍法免許状	元文3戊午	夾鐘	仲旬	香西庄兵衛藤資始	立花平左衛門		折紙	1	包紙あり
106	兵法添書	天保3辰	5	19	立花弥兵衛種礼	能勢奎大夫	兵法執心出精につき奥義3伝のうち2伝、5巻書のうち4巻の伝授	折紙	1	
107	筑前准風土記序	天保辛丑 (12)	季冬		立花冬松撰			書綴	1	
108	[鉄山如々居士肖像]	宝永元	9	25			賛宇宙谷隠者如実、画如々斎	軸装	1	
109	黙止斎禪參宗悟居士肖像						賛前大徳後住崇福老隠實(カ)海宗暎、画長谷川雪旦	軸装	1	
110	(藤井)鈍鉄居士寿像	元禄13庚辰	涅槃月				自賛、画何速菴鉄山宗純	軸装	1	軸付紙「□山居士寿像 自賛 何況着(カ)語」
111	[]加増知高目録	[] (元禄7カ)	2	27	大野惣兵衛・白石権右衛門	藤井勘右衛門殿	裏粕屋郡今在家村・席田郡金隈村ほかにつき	継紙	1	虫損につき閲覧不可
112	[書状]	(近世)			中村八大夫	梶原七大夫	昨日美濃守へ目通りの事ほか	切紙	1	後欠
113	[帳面断簡]	(近世)					丹半左衛門尉宛弘成書状写(新知2,500石預りにつき)ほか	切紙	1	
114	知行所覚	(近世)					席田郡など6ヶ村高600石余につき徳米・俵数など書上	折紙	1	折紙2枚
115	[書状断簡]	(近世)	正	21	右衛門佐 光之(花押)	藤井甚三左	差出・宛名部分のみ	切紙	1	前欠。付紙同折(「右同断」)
116	[行列図]	(近世)					自身之馬験・与力馬乗ほか	継紙	1	虫損につき閲覧不可
117	[文書等目録]	(近世近代)					綱政公拝領高目録1通ほか給知判物類など書上	切紙	1	前欠
118	[書状]	(近世近代)					「書面之趣至極御内意被遊候事」とあり	切紙	1	
119	[人名字義書上]	(近世近代)					徳毅ほか	切紙	1	下部虫損欠
120	[佐成家物故者書上]	(近世近代)					佐成三郎左衛門安重ほか戒名・菩提寺などにつき	折紙	1	折紙2枚
121	[藤井家系図断簡]	(近世近代)						折紙	1	付紙(「仙昌子ノ次第」)あり
122	[包紙]	(近世近代)					包紙上書「実名」	包紙	1	
123	精義六拾四卦之伝 初伝	(近世近代)						小横帳	1	虫損につき閲覧不可

史料番号	表題	年	月	日	作成者(差出人)	宛名	註記	形態	数量	備考
124	[中卦外卦ノ部]	(近世近代)						折紙	1	帳外れか
125	[易書写]	(近世近代)						小横綴	1	
126	[易書写]	(近世近代)						書綴	1	前欠。虫損につき 閲覧不可
127	[書上]	(近世近代)					「矢タマリ口熊ノ皮」などあり	継紙	1	前欠。虫損につき 閲覧不可
128	[人足賃算用書上]	(明治初年)					久三郎など41人余代金8円余ほか	折紙	1	
129	[封筒]	明治13	7	17日	発	長崎上等裁判所		封筒	1	
130	[付紙]	(明治期)					伸縮約定につき22年は払入れの事	切紙	1	
131	[封筒]	(昭和)10	1	15	福岡県粕屋郡小野村 福沢なか	東京市本郷区東片町卅 番 藤井甚太郎様		封筒	1	封筒墨書「重要書 類」。年月日は消 印より
132	[断簡一括]						付紙、掛軸の紐など	断簡	約6	
包紙	1 [包紙]	(元和7)					包紙上書「立花弥兵衛とのへ」	包紙	1	No.3の包紙カ
包紙	2 [包紙]	(元和7)					包紙上書「元和七年正月廿日 長政公ヨリ四 百石之御目録弥兵衛ニ被下、折紙別ニ在之」	包紙	1	No.3の包紙カ
包紙	3 [包紙]	(近世)					包紙上書「元和七年正月廿日 長政公より立 花弥兵衛へ被下四百石之御目録」	包紙	1	No.3の包紙カ
包紙	4 [包紙]	(近世)					包紙上書「元和七年正月廿日四百石之御判 長政公ヨリ弥兵衛被下御目録も在之、寛永弐 年八月廿八日御判壱つ忠之公ヨリ弥兵衛ニ被 下」	包紙	1	
包紙	5 [包紙]	(近世)					包紙上書「寛永十八年二月三日 忠之公ヨリ 立花平六へ被下式百石之御判物」	包紙	1	
包紙	6 [包紙]	(近世)					包紙上書「明暦弐年三月廿三日 光之公 七 千石之御判」	包紙	1	No.5の包紙カ
包紙	7 [包紙]	(近世)					包紙上書「明暦弐年三月廿三日 光之公 御 目録一つ但七千石ノ」	包紙	1	No.6の包紙カ
包紙	8 [包紙]	(貞享元カ)					包紙上書「藤井甚太郎とのへ」	包紙	1	No.12の包紙カ
包紙	9 [包紙]	(元禄6カ)					包紙上書「元禄六年酉ノ十一月十五日頂戴之 御判物 二通」	包紙	1	No.13, 14の包紙 カ
包紙	10 [包紙]	(元禄7カ)					包紙上書「藤井勘右衛門とのへ」	包紙	1	No.16の包紙カ
包紙	11 [包紙]	(宝永2頃)					包紙上書「江龍院様御遺書之内写壱通」	包紙	1	No.37の包紙カ
包紙	12 [包紙]	(近世)					包紙上書「宝永四年之御加増地同五年閏正 月替地被 仰付目録 御館ニ而相渡ル」	包紙	1	No.19~22の包紙 カ
包紙	13 [包紙]	(延宝2)					包紙上書「藤井甚太郎とのへ」	包紙	1	No.8の包紙カ
包紙	14 [包紙]	(延宝2)					包紙上書「藤井甚太郎とのへ」	包紙	1	No.8の包紙カ
包紙	15 [包紙]	安永6酉	6	24			包紙上書「御判物扣出来之節差出候御判物 写ニ添候書付之扣一通 安永六酉六月廿四 日包改」	包紙	1	
包紙	16 [包紙]	(嘉永7頃)					包紙上書「嘉永七寅年六月 本ノ江仰付候節 之御意書 初官」	包紙	1	No.62, 63の包紙 カ
包紙	17 [包紙]	(近世)					包紙上書「御判物・御目録 写」	包紙	1	
包紙	18 [包紙]	(近世)					包紙上書「御書」	包紙	1	
包紙	19 [包紙]	(近世)					包紙上書「上」	包紙	1	